

はま Y U



Vol.
7
2007.秋号



高野龍神スカイライン

小児科外来

診療日 / 月・火曜日 午前・午後
水曜日 午前
木・金曜日 午前・午後
土曜日 午前

受付時間 / 午前8時半～11時半
午後1時半～4時半

診療時間 / 午前9時～12時
午後2時～5時

担当 : ふるくぼ かずひろ
古久保 和洋 医師

産婦人科外来

診療日 / 月曜日 午前
火～木曜日 午前・午後
金曜日 午後

受付時間 / 午前8時半～11時半
午後1時半～4時半

診療時間 / 午前9時～12時
午後2時～5時

担当 : くにべ ひさや
國部 久也 医師



案内・介助ボランティア募集中

白浜はまゆう病院は、夜間・休日を問わず
「365日・24時間の救急医療」に対応しています。



(財)日本医療機能評価機構 認定施設複合病院(一般・療養) Ver.5.0

CONTENTS

理念・基本方針
園芸ボランティア(優良賞受賞)…… 2

専門外来のご案内
泌尿器科外来…… 3

脳神経外科外来…… 4

地域リハビリテーション
広域支援センターの指定…… 5

電子カルテ・遠隔画像診断
システムの導入推進…… 6

遠隔画像診断システムの導入について…… 7

マンモグラフィ(乳房撮影)
施設認定…… 8～9

鮎川診療所
禁煙外来・頸動脈
エコー検査のご案内…… 10

認知症介護予防教室のご案内…… 11

患者さまからの声…… 11

●白浜はまゆう病院 外来診療担当表

理念

基本方針

あみだに
みんが、
だれも
いっつも



私たちは、地域に根ざした医療機関として、最高の誠実さと最大限の努力で、親切で質の高いサービスを提供し、健康・福祉のレベルの高い地域づくりを行います。

1. 利用者の権利の尊重

私たちは、健康増進から看取りまで、利用者の状態のいかにかわらず、利用者の皆様の気持ちや権利を大切に医療とケアを提供します。

2. 地域に開かれた存在

私たちは、24時間いつでも、誰でも、困った時は気軽に受診・相談していただける、地域に開かれた医療機関・サービス提供機関を目指します。

3. 協力と連携

私たちは、院内各職種が手を携え、地域他機関とも協力連携し、健康増進・診断と治療・リハビリテーション・看取りまでの一貫した包括的な地域医療と福祉を提供します。

4. 利用者とのパートナーシップ

私たちは、患者・利用者の皆様との協働作業として、安全で質の高い医療・ケアを提供します。

5. 事故・災害への対応

私たちは、大規模な自然災害や事故に対応できるように、普段から備えを強め、いざと言うときに頼りになる病院を目指します。

患者・利用者の皆様の権利と義務について

1. 平等

人種・宗教・社会的地位などのいかにかわらず、すべての方々は、適切な医療・ケアを受ける権利があります。

2. インフォームドコンセント

病状や医療・サービスの内容については、分かりやすい言葉と方法で、十分な説明を受ける権利があります。また、医療の内容やサービスの内容について、自らの意思で選択する権利があります。

3. 情報開示

自分の診療の記録やサービスの記録の開示を求める権利があります。

4. セカンドオピニオン

自分が受けた検査結果や治療法の説明などに対して、他の医療機関の意見を求め、また医療機関を自ら選択する権利があります。

5. プライバシーの尊重と保護

自分の個人情報やプライバシーについて、尊重・保護される権利があります。

6. 利用者の参加

治療やサービス提供に必要な、自分の健康に関する情報を正確に伝え、説明を受けたときには、十分理解できるまで質問するなど、利用者自身も医療やケアに積極的に参加するように努めてください。

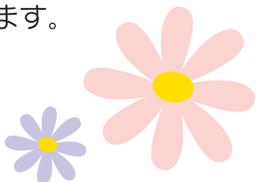
7. 規則の遵守

他の患者・利用者の治療や職員の業務に支障をきたさないように、病院の規則を守るよう協力をお願いします。

園芸ボランティア優良賞受賞!! 白浜はまゆう病院

去る7月14日・15日、田辺市の田辺ひがしコミュニティセンターにて、第10回田辺花いっぱい運動コンクールが開催されました。

白浜はまゆう病院の園芸ボランティア(鈴木半次郎代表他6名)が職場・地域の部で、見事優良賞を受賞しました。一昨年、昨年も努力賞・連合会賞を受賞しており、花のあふれる病院として患者様や職員の心を癒しております。これからも園芸ボランティアの皆様が育ててくれる花と職員の笑顔で、明るい病院を目指していきたいと思っております。





泌尿器科
柏木 秀夫

白浜はまゆう病院
泌尿器科外来
月～金曜日
土曜日当番医(大阪市立大学医師)
受付時間 8:30～11:30
診療時間 9:00～12:00



オリンパス
VISERA Pro 内視鏡システム

～泌尿器科に柏木医長着任～

初めまして、泌尿器科の柏木秀夫です。と言っても、この地(田辺・白浜地区)には長く、約9年間、当地で診療をさせて頂いております。改めて、よろしくお願い申し上げます。

皆さまは、おしっこの出方、排尿にかかわる御不満をお持ちではないでしょうか。排尿にかかわる症状を私たちは下部尿路症状と呼んでいます。

この下部尿路症状を有している方は、かなり多く、50歳以上の方でしたら3人に1人が、程度には差がありますが何らかの排尿にかかわる症状を有しているのではとされています。

そのうち医療機関を受診していただいている方は少なく、かなり症状が進行し、日々の生活に支障を及ぼすようになってもまだ、我慢されている方もおられます。歳のせいとあきらめている方も多いようですが、泌尿器科を受診していただき、きちんと評価・診断・治療させていただければ、症状を改善させていただくことができます。また、その症状の裏に、泌尿器科領域の悪い病気が頻度は低いですが潜んでいることもあり注意を要します。

この度、白浜はまゆう病院で、下部尿路症状を評価し、泌尿器科疾患を診断・治療するための機材をそろえていただきました。痛み・不快感を伴うことが多い泌尿器科の検査ですが、従来のものとは比較にならないほど苦痛の少ない最新の機材をそろえていただきました。

下部尿路症状のある方、また、泌尿器科系の病気の心配な方、健診でおしっこの異常を指摘された方など、お気軽に泌尿器科外来を受診していただければお役に立てると思います。

泌尿器科系の病気の心配な方、健診でおしっこの異常を指摘された方など、お気軽にご相談ください。

脳血管障害は、予防に勝る治療なし！
突然発症の頭痛は要注意！

白浜はまゆう病院
脳神経外科外来
毎週木曜日 中北和夫
受付時間 8:30～11:30
診療時間 9:00～12:00



脳神経外科
中北 和夫

日本脳神経外科学会専門医
日本救急医学会専門医

～脳神経外科外来を始めました～

初めまして。

7月から、脳外科外来を担当させていただくことになりました中北です。

脳血管障害や脳外科手術後の経過観察と、頭痛、めまい、しびれの外来診察を担当しております。

脳外科は、脳腫瘍、脳血管障害(脳出血・脳梗塞など)、頭部外傷など脳の病気に対して手術をして治療する科です。そう言うと、脳外科を受診すると頭を手術されるかと思ってしまうかもしれませんが、手術をしなくてもすむように、脳の病気の予防治療をするのも脳外科医の仕事です。脳の手術の大半は、脳血管障害と頭部外傷です。脳血管障害の大部分は、生活習慣病が原因といわれています。生活習慣病とは、糖尿病、高血圧、高脂血症、高尿酸血症などで、食事療法、運動療法あるいは薬の服用によって予防や治療可能な病気です。つまり、脳血管障害は予防できる病気であるということです。脳血管障害は脳出血にしても脳梗塞にしても、いったん起こると、片麻痺や言語障害など強い後遺症を残し日常生活に多大な支障をきたすことが常です。どんなにすばらしい手術をしても、また、リハビリテーションをしても、予防に勝る治療はありません。日頃から、生活習慣病について十分に注意を払う必要があります。私は、脳外科外来でこれらの生活習慣病の予防を中心とした外来診察を行なっていきたいと考えております。

もう一つ脳外科外来で欠かせないのは、頭痛です。多くの患者さんは、頭痛は脳の病気かと思われ受診されます。しかし、頭痛の原因の8割から9割は頭蓋外にあります。肩凝りが原因の緊張型頭痛や頭皮の血管の痛みである片頭痛が大部分です。ストレスが誘因となりますので、ストレスのない生活を心がけることやストレスを解消する努力が必要です。それでもおさまらないときは、薬の服用で痛みは軽減しますので受診してください。

頭痛で注意しなければならないのは、突然発症の頭痛です。緊張型頭痛や片頭痛は、いつから起こったかわからないうちに徐々に痛みが増強してくるのが普通です。ところが、くも膜下出血や脳内出血の場合は、発症と同時に頭痛が起こるので、何々していたときとか何時何分に起こったとういうように、発症時間がわかる突発の頭痛となります。このような頭痛のときは、命にかかわる頭痛です。すぐ受診しなければなりません。

めまい、しびれのある方も、お気軽に受診してください。

地域リハビリテーション広域支援センターの指定

当院は、2007年4月に和歌山県から、田辺・西牟婁の「地域リハビリテーション広域支援センター」の指定を受け、県リハビリテーション支援センター（和歌山県立医科大学附属病院）と連携しながら、運営していく事になりました。



研修風景

■ 地域リハビリテーション広域支援センターとは？

センターの役割は、障害のある人や高齢者をはじめすべての県民が、住み慣れた地域において、生涯を通じて、出来る限り自立した生活を送る事ができるよう、疾病の発症、社会的自立に至るまでの一連の過程の中で、それぞれの状態に応じ適切なリハビリテーションが提供される体制づくりをする事です。

具体的には、

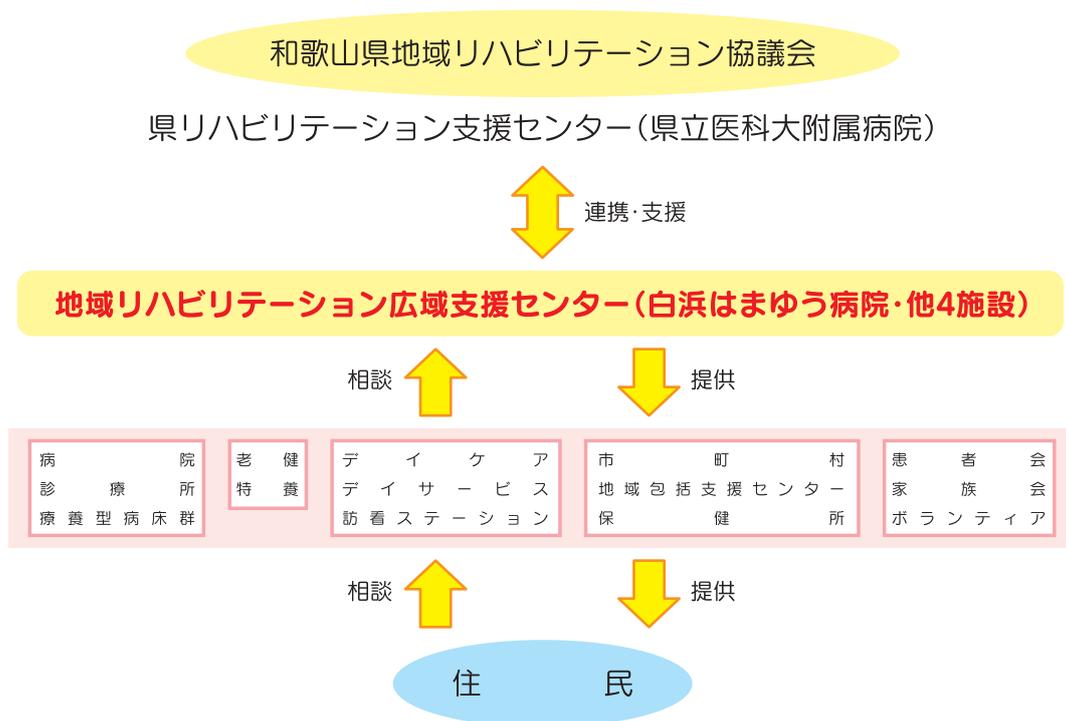
- ・ 地域のリハビリテーション実施機関の支援

- ・ リハビリテーション施設の協同利用
- ・ リハビリテーション実施機関の従事者に対する技術援助
- ・ 地域関係団体、患者の会等からなる連絡協議会の設置・運営

などの事業を行っていく事になります。

センターの活動はまだ始まったばかりですが、今後、各関係者の方に研修会の案内等、随時ご連絡させていただきますのでご参加、ご協力下さいます様、宜しくお願い致します。

和歌山県地域リハビリテーション推進体制図



西富田クリニック、鮎川診療所に電子カルテを導入 5つの診療所に遠隔画像診断システムの導入を推進

情報管理室 尾崎 伸次

西富田クリニックは本年10月から、鮎川診療所においては12月に電子カルテシステムの稼動開始を予定しております。

白浜はまゆう病院では2005年9月より電子カルテシステムを使用している診療を行っております。

白浜町が地域社会基盤整備の一環として進めている「白浜町地域イントラネット基盤施設整備事業」によって光ファイバー網でネットワーク化されたことにより実現でき、診療所と病院間で診療情報を共有でき診断に生かすことができます。

また西富田クリニック、鮎川診療所、日置診療所、三舞診療所、川添診療所の5つの診療所は今年度、厚生労働省による「遠隔画像診断施設整備事業」の補助金を受け、遠隔画像診断システムも導入する予定です。

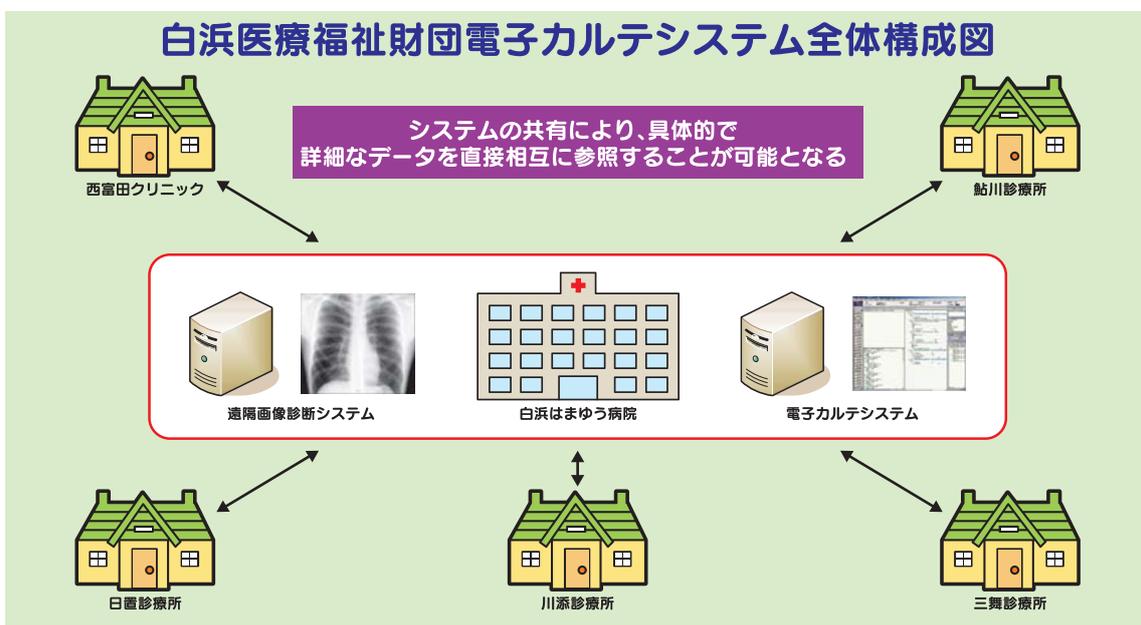
これは各診療所で撮影されたレントゲン写真等を、ネットワークを通して白浜はまゆう病院にデータ転送するシステムであり、白浜はまゆう病院で撮影したCT、MRI、X線写真もみることができます。

これらのシステムにより、各診療所を受診された患者様の検査結果や投薬内容、レントゲン写真などを、来院された診療所において閲覧することが可能となり、患者様の診断に活用できるようになります。

またこの医療機関を受診されても、各診療科の専門医の診断及び助言を受けることが可能となり、医療の地域格差の解消にもつながります。

今後の計画として、日置診療所・川添診療所・三舞診療所への電子カルテの導入を検討しています。

住民の皆様が安心して暮らせる医療環境が提供できますよう、白浜はまゆう病院と財団が運営する診療所間の診療情報、画像診断システムのネットワーク化により、より適切な医療の提供に努めて参りますので、皆様のご理解ご協力をよろしくお願い致します。



遠隔画像診断システムの導入について

～京都大学医学部の読影のプロがあなたの画像を診断します～

白浜はまゆう病院 放射線科

当院には、CTやMRIといった、画像を撮影するための優秀な機器があります。頭の中もおなかの中もきれいに撮影することができますが、この優秀な機器がしてくれることはあくまで写真を撮影するという点だけです。どういう写真が写っているのか判断するのは当たり前ですが人間の仕事ですので、撮影された画像から病変を発見できるかどうかはその画像を診断する(これを読影といいます)医師にかかってくるのです。その読影のプロフェッショナルが、画像診断医と言われる人たちです。でも、残念なことに、当院に画像診断医は勤務していません。

しかし、近年、専用のネットワーク回線で医療機関と画像診断医を結び画像をオンラインで送受信することにより、遠く離れた場所にいる画像診断医に画像診断してもらうこと(これを遠隔画像診断といいます)が可能になってきました。そして当院でも、この遠隔画像診断システムを7月より導入する運びとなったのです。

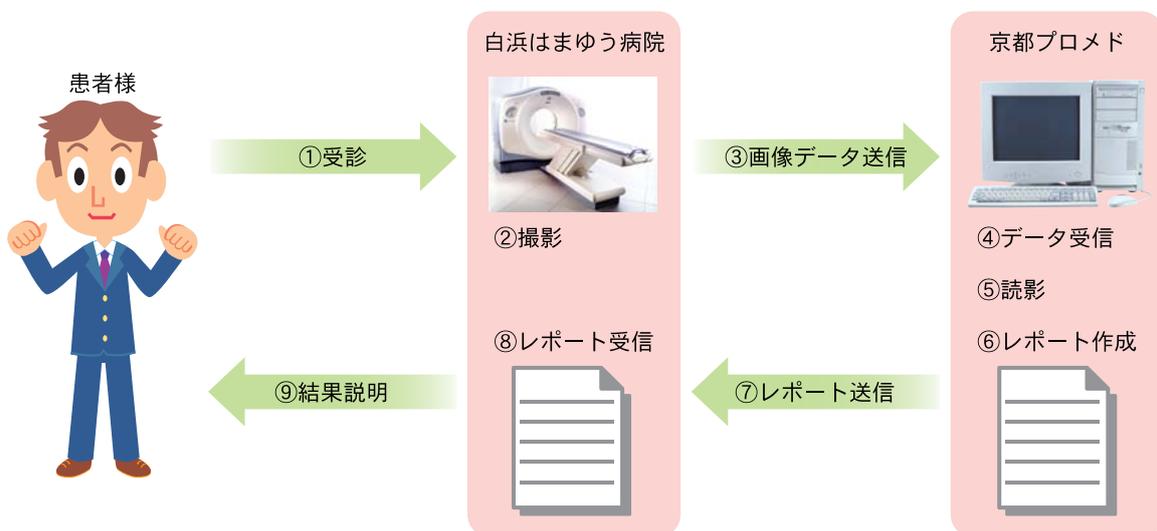
今回導入した遠隔画像診断システムは、京都大学医学部放射線診断教室により発起された画像診断を導入し読影のレベルを一層向上させることができるようになりました。

画像診断の手順としては、まず当院で撮影された画像を光ファイバー回線によって画像診断センターに送信します。画像診断センターの画像診断医が読影を行い、画像所見を作成します。その所見を同じく光ファイバー回線で当院へ送信して結果報告を行うという流れになります。

特徴としては、京都大学医学部放射線診断教室の協力のもと、専門医による精度の高い画像診断が提供されることが挙げられます。また、常時複数の診断医が常駐しているため迅速な画像診断ができると同時に、必要な時は当院の医師と画像診断医が電話でディスカッションしながら読影を進めていくということも可能です。そのため、場所は離れていても緊密な連携を図ることができ、あたかも院内にその読影室があるかのような運用が実現できるのです。また、画像診断医も、更に細分化された各分野について専門家がそろっています。患者様の画像については専用の回線を用いて暗号化して送受信しているため、ネットワーク上での個人情報漏えいのリスクは極めて低いといえます。

このシステムを通じて、当院の優れた撮影機器で撮影した画像を優秀な専門医が読影することにより、地域のみなさまに対して今まで以上に質の高い医療を提供していくことが可能になったといえます。現在のところ遠隔画像診断の対象はCTとMRIですが、今後はマンモグラフィーについても対象とし、より多くの患者様の画像が読影のプロによる遠隔画像診断を受けられるような体制にし、疾病の早期発見・早期治療に役立てていきたいと考えています。

ご不明な点があれば、当院のスタッフにどうぞお気軽におたずねください。



マンモグラフィ(乳房撮影)施設認定を取得

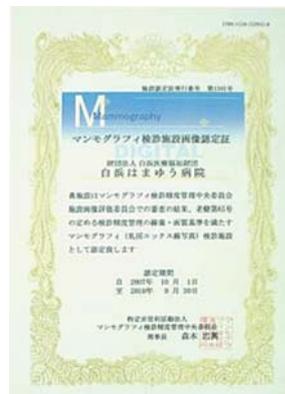
当院は、2007年10月1日付けで、マンモグラフィ検診施設認定を取得いたしました。

マンモグラフィ検診施設認定とは、特定非営利活動法人マンモグラフィ検診精度管理中央委員会が書類審査、画質審査、画質評価、線量評価を行ない、基準を満たしている施設であると認めるものです。

また、同委員会が行なうマンモグラフィ読影及び撮影技術認定においても『マンモグラフィ読影認定医師』、『マンモグラフィ撮影技術』の認定取得をしております。

施設認定の取得は、当院のマンモグラフィの質の高さが第三者から評価され、乳がん検診に対する取り組みが認められたことでもあります。

当院では、マンモグラフィ検査を安心して受診していただくため、精度管理の向上に努め、質の高いマンモグラフィの維持と更なるレベルアップを図り、地域の人々の健康増進に務めて参ります。



マンモグラフィ
検診施設画像認定証

■マンモグラフィとは・・・!?

乳房専用のX線撮影の事です。

マンモグラフィは、乳がんを見つけるために有効な画像診断の一つです。柔らかい組織でできている乳房の状態を写し出す乳房専用のX線撮影の事です。

日本人女性の約23人に1人が乳がんにかかるといわれています。40代半ばから後半にかけて発見されるケースが多いのですが、70代、80代の女性にも増え、また、20代、30代の若い世代にまで広がっています。幅広い年齢層で全体に広がっています。マンモグラフィは、しこりとしてふれることができない早期乳がんのサインである石灰化(砂粒のように見えるもの)を鮮明に写し出させるのが大きな特徴です。

■撮影にあたってのポイント

Q.いつ撮影するのがいいの?

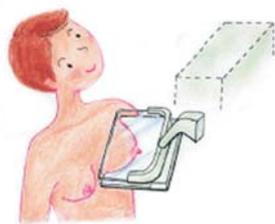
A.生理から1週間くらい後がおすすです

乳房を圧迫して撮影するため、乳房がはっている時期はさけたほうがいいでしょう。生理から1週間くらい後、乳房のはりや痛みがなくなり柔らかい状態の時がおすすです。

Q.どのように撮影するの?

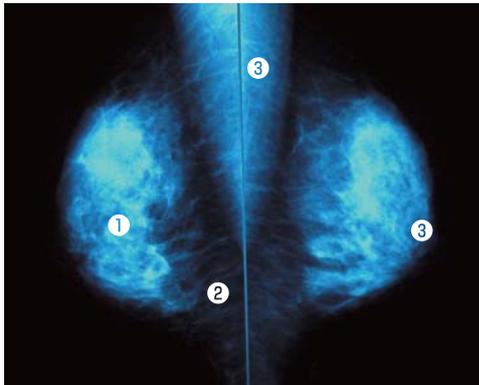
A.2枚の板に乳房を挟んで撮影します

立体的な乳房全体がフィルムにもれなく写し出されるように2枚の板に挟んで撮影します。これを圧迫といいます。



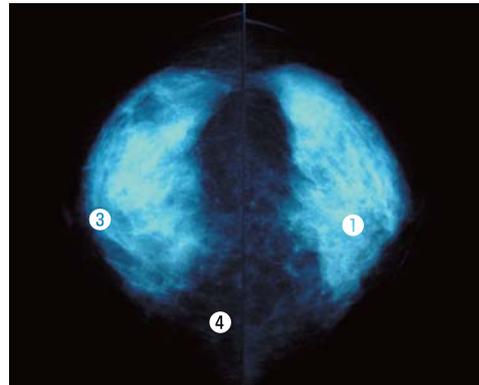
乳房撮影装置

MLO画像 斜め横から圧迫して撮影



左右内側

CC画像 上下から圧迫して撮影



左右外側(腋側)

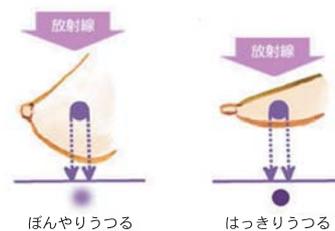
①乳腺(白い部分) ②脂肪(黒い部分) ③大胸筋(腋の部分) ④乳頭

Q. どうして圧迫するの？

A. 放射線被ばく線量を少なくすることができます

乳房を圧迫し薄く均等に広げることにより、乳房内部の様子を鮮明に映し出すことができ、さらに少ない放射線量で撮影することができます。

(5mm薄くなると30%、1cm薄くなると50%被ばく線量が減ります)



Q. 痛みは？

A. 圧迫により多少痛みを伴うことがあります

圧迫の際、痛みを伴うことがあります。痛みの感じ方は人によって違います。

マンモグラフィで鮮明な写真を撮影するためには、圧迫は必要になります。しかし、痛みが強いときには撮影時にお伝え下さい。撮影全体は約15分程度ですが、圧迫している時間は数十秒です。

Q. 検査の流れは？

1. 更衣室に入り、上半身を脱衣し、バスタオルを羽織って準備します
2. 検査室に入り、担当技師より検査前の説明をいたします
3. 乳房を圧迫しながら撮影します
4. 写真を確認して検査終了です

Q. 注意することは？

A. 食事の制限や事前に服用するお薬などはありません

以前に受けた手術や傷跡、いぼ、ほくろや気になる症状などがありましたら、担当技師にお伝えください。より良い撮影と診断に役立ちます。

撮影の範囲は乳房から腋の下を含めた部分になります。よって、撮影時には、

- ① パウダーや制汗剤などは写真に写りますのでふき取ってください。
- ② 心臓ペースメーカーの装着、豊胸(シリコン挿入など)をしておられる方は撮影前にお伝えください。
- ③ 肩にかかる髪は、写真に写りますので事前に束ねておいてください。
- ④ イアリング、ピアス、めがね、ヘアピンなどは、写真に影響する場合がありますのでずしてください。

**当院では、マンモグラフィ検査は女性技師が中心となって撮影を行っています。
不安な点やご質問などがありましたら担当技師にお尋ねください。**

早期乳がんの発見率が向上することで、乳がんによる死亡率を減少させる効果も得られています。
早期の乳がんを見逃さないためにも乳がん検診でチェックしていきましょう。

禁煙外来・頸動脈エコー検査のご案内

鮎川診療所では7月1日より頸動脈エコー検査を、8月1日より禁煙外来を行っております。

ともに予約は必要ありませんが、多少時間(両方とも約30分程度)もかかりますので午後の外来に来ていただければ有難いと思っております。事前にお電話をいただければ幸いです。

最近、メタボリック症候群などの生活習慣病による動脈硬化と、動脈硬化による脳梗塞や心筋梗塞などの心血管病が話題となっています。

首の動脈(頸動脈)は全身の血管状態を反映しており、また、動脈硬化の好発部位で、早期から変化が起きるので心臓や脳の動脈硬化の状態が推測できます。

頸動脈エコー検査は簡単に行えます。

首の左右にある動脈に超音波エコーの探触子を当てて血管の状態を調べただけです。血管の状態によりますが20~30分程度で検査を終えることができます。腹部エコー検査とは異なり食事を抜く必要はありません。

タバコは発癌物質を多く含んでおります。その他、動脈硬化、脳梗塞、心筋梗塞などの心血管病や全身性の病気に大きな影響を与えます。また、これらはタバコを吸われるご本人だけではなく、傍におられる方にも同様な影響(受動喫煙)を与えます。

タバコを吸われている方の中には「タバコを止めたくとも止められない」人が多くおられます。

昨年(2006年)6月より禁煙治療が保険適応となりました。

鮎川診療所では、そのような方々の禁煙をサポートするために禁煙治療の施設基準を取得し、8月1日より保険による禁煙治療を行えるようになりました。

タバコの害や禁煙の方法などをご指導するために約30分程度の時間が必要ですが、ニコチン補助剤を使うことにより容易にタバコを止めることができます。

「禁煙治療を受けたい。」「頸動脈エコー検査を受けたい。」という患者様がおられましたら是非ご連絡ください。



鮎川診療所 所長

齊藤 豊

日本腎臓学会専門医・指導医
日本透析学会専門医

月		火		水		木		金		土	
午前	午後										
齊藤	齊藤	西	齊藤	齊藤	齊藤	齊藤	—	齊藤	齊藤	松尾	—

■休診日 日曜日 祝祭日 年末年始(12月29日~1月3日) 盆 木・土曜日午後



鮎川診療所 ■診療科 内科・循環器科
■受付時間 午前8時30分~11時30分/午後3時~午後6時

〒646-1101 和歌山県田辺市鮎川583-3 TEL.0739-48-0031

「脳リハビリでいきいきと」

認知症介護予防教室開催中 ● 榊ヶ峰会館 ● 堅田東町内会館

日本の要介護高齢者は2004年で387万人、2010年には450万人、2025年には545万人に達すると推定されています。要介護問題は身体のことだけにはとどまらず施設入所者の90パーセントは認知症ケアを必要とし、要介護高齢者全体の50%以上の方に認知症の症状が見られると推定されています。



榊ヶ峰会館での予防教室風景

老後は最後まで自分らしくありたい…誰もの望みですが、いつ自分や家族が認知症に陥るかはわからず無関心ではいられない問題となってきました。

認知症にはアルツハイマー病、脳腫瘍、脳血管疾患によるものなどがありますが、認知症のほとんどがアルツハイマー型と言われるものです。

アルツハイマー型認知症は、脳の働きに原因がある為MRIやCTなどの検査をしても異常が出ていく加齢による気質的变化と取られてしまうこともあり、生活の中でいろいろな問題が出てやっとなつくと気づくというケースがほとんどです。

認知症を予防するためには、早期に脳の機能を知り生活を見直すことが必要です。

白浜町では、脳の機能検査をおこなうことで生活を見直すきっかけになるよう白浜はまゆう病院在宅介護支援センター、地域包括支援センターが中心となり、認知症介護予防教室を開催しています。

加齢により誰でも老化は進んで脳の働きも低下してきますが、みんなが認知症になるかというそうではありません。

楽しむことのないぼーっとした単調な生活を続けていると頭の老化も加速させることになります。脳を生き生きと保てるかは毎日の脳の使い方生活習慣が大切になります。スポーツや散歩で運動の脳を使うことも良いでしょう。

趣味や遊び、人付き合いで右脳や左脳を使い、喜びや生きがいがあり、目標のある毎日を過ごし前頭葉の出番が多いような生活をするのが大切です。

できるだけ自分らしい暮らしが続けていけるように、生活を見直してみませんか。

次回開催日程

榊ヶ峰会館「オレンジびんしゃん倶楽部」毎月第4月曜日

堅田東町内会館「東びんしゃん若返り倶楽部」毎月第3金曜日

◇お問い合わせ先

白浜はまゆう病院 在宅介護支援センター TEL.43-7870

患者さまからの声 Voice

Q 診察は9時から始めていただきたいです。よろしくお願いします。

A 定刻に診察が始まらないことがあり、たいへんご迷惑をおかけしております。診療時間どおりに診察をはじめられるよう、改めて各医師に通知しております。又、病棟の急な業務等で止むを得ず開始が遅れる場合は、その旨受診者の皆様にお伝えするように徹底致します。

Q なぜ毎月保険証を提示しなければいけないのか。保険料は引き落としで払っているし、番号も変わっていない。

A 病院では1か月分の診療内容を「レセプト」として、関係諸機関に提出しなければいけません。そのため、月に一度の保険証の確認は必須となっております。ご面倒ですが、毎月初回の診察日には保険証をご提示下さい。また更新等で保険証が変更した場合、会社を退職等で新しい保険証を受け取った場合は、必ずお申し出下さるようお願い申し上げます。

白浜はまゆう病院診療担当表

電話 **43-7880** (受付) **43-6200** (代表)

診療科		月	火	水	木	金	土	
内科	内科1(初診)	午前	山崎	立田	山崎	松本	田中	高村
		午後	伊藤	木下	松本	木下	立田	
	内科2(再診)	午前	木下	伊藤	松尾	松尾	山崎	
		午後	松本	伊藤	松尾	松本	山崎	
	内科3(再診)	午前		齊藤				
		午後	田中		立田		木下	
	内科4(再診)	午前	佃		中川	佃	伊藤	
		午後		西	佃		伊藤	
	内科5(再診)	午前			谷口		谷口	
		午後			谷口			
外科 胃腸科		午前	当番医	岡山	岡村	岡山	当番医	
整形外科	整形1(初診)	午前	政田	リウマチ外来/金	政田	金	岡村	笹岡/原
		午後	ギプス装具外来				政田	
	整形2(再診)	午前	金					
		午後						
小児科		午前	古久保	古久保	古久保	古久保	古久保	
		午後	古久保	古久保	古久保	古久保	古久保	
産婦人科		午前	國部	國部	國部	國部	古久保	
		午後		國部	國部	國部		
皮膚科		午前					國部	県立医大 京都大学
		午後		県立医大 京都大学				
眼科		午後		藤田				
耳鼻咽喉科		午後				県立医大(月3回)		
循環器外来		午前		伊藤				
		午後	伊藤	伊藤			伊藤	
呼吸器外来		午前			松尾	松尾	伊藤	
		午後			松尾			
アレルギー・呼吸器専門外来		午前			中川			
腎臓内科		午前		齊藤				
泌尿器科外来		午前	柏木	柏木	柏木	柏木		当番医
神経内科・リハビリテーション専門外来		午前	小口	廣西	石口		柏木	
		午後	廣西			小口/中西	小口	
脳神経外科		午前				中北		
緩和ケア外来(予約制)		午後			伊藤			
心療内科 漢方外来		午後	田中		立田			
糖尿病専門外来		午後		井神		水本		
消化器専門外来		午前	山崎		谷口		山崎/谷口	
		午後		西	谷口	木下	山崎	
腫瘍内科		午前	佃			佃		
		午後			佃			
循環器・高血圧専門外来		午前						有田(月2回)
関節専門外来		午前						金

	受付時間	診療時間	●休診 土曜日午後・日・祝
午前(月~土)	8:30~11:30	9:00~12:00	※診療時間外(夜間・休日)に 具合が悪くなったときは、 日時に関係なく受付しま すので、白浜はまゆう病院 へ電話で連絡ください。
午後(月~金)	13:30~16:30	14:00~17:00	
眼科(火)	12:00~14:30	12:30~15:30	
皮膚科(火)	13:00~15:45	13:30~16:00	
耳鼻咽喉科(木)	14:00~16:30	14:30~17:00	
循環器・高血圧専門外来(土)	8:30~11:00	9:00~12:00	
神経内科・リハビリテーション 専門外来(中西)	13:00~16:00	13:00~16:00	



(財)白浜医療福祉財団

白浜はまゆう病院 ●理事長 立谷誠一 ●院長 谷口友志

〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町1447番地

TEL.0739(43)6200 FAX.0739(43)7891 【E-mail】hamayu@mb.aikis.or.jp 【URL】http://www.hamayu-hp.or.jp/

■西富田クリニク	〒649-2334 和歌山県西牟婁郡白浜町才野1番地	TEL.0739(45)3600	FAX.0739(45)3678
■鮎川診療所	〒646-1101 和歌山県田辺市鮎川583番地の3	TEL.0739(48)0031	FAX.0739(48)1005
■日置診療所	〒649-2511 和歌山県西牟婁郡白浜町日置206番地の1	TEL.0739(52)2002	FAX.0739(52)4192
■三舞診療所	〒649-2532 和歌山県西牟婁郡白浜町安居3番地	TEL.0739(53)0001	FAX.0739(53)0001
■川添診療所	〒646-0301 和歌山県西牟婁郡白浜町市鹿野1052	TEL.0739(54)0037	FAX.0739(54)0037
■訪問看護ステーションたんぽぽ	〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町1447番地	TEL.0739(43)5226	FAX.0739(43)0682
■白浜はまゆう病院在宅介護支援センター	〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町1447番地	TEL.0739(43)7870	